

平成 30 年度 松本やまびこ保育園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

～子どもが真ん中！やっほー！やまびこ保育園！ 体をつくろう！心をつくろう！～

- ① そろえる心 ②がんばる心 ③やさしい心

2. 本年度の重点目標

- ① 集団で行う遊び、活動を通じて「けじめのある心」＝『そろえる心』を育てます。
 ② さまざまな遊び、体力づくりをすることで『がんばる心』を育てます。
 ③ 集団遊びを多く取り入れ、異年齢交流を通年通じ行うことにより、仲間を思いやる『やさしい心』を育てます。

継続活動・・・やまびこキッズマラソン部、おにぎり遠足（散歩）、異年齢交流会

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・保護者アンケートのまとめ等から、保護者の意見を小さなことも零さずに吸い上げていて良い。保護者の意見は意見として、改善していることはしていくが、園の保育方針やラーニングストーリーはとても子どもたちのために良い方針を掲げているので、根本姿勢は変えずに園の方針を進めていった方が良いのではないかと。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・園の保育方針に共感してくださっている、保護者、地域の方の割合が多い。興味を持ってくださっている分、園の活動の様子が、伝わりにくいと言った声もあるのが実際である。子どもたちの活動の様子、生活の様子が、タイムリーに詳細に伝わりやすくなるような工夫が今後、必要。おたより、ホームページ、地域回覧などの使い方や、内容の精選、目的の具体などを検討し、目に見える形で園の様子が見通しを持って見ていただけるように考えていきたい。